金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

KANAZAWA UNIVERSITY SCHOOL OF LAW

金沢大学
法学類





社会には法学の知識、考え方が
必要とされている場面はたくさんあります。
奥が深くて広い法学の世界へようこそ。

法学類が求める人材

●大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えている人
●国内外の社会問題に関心を持ち、よりよい社会の実現のために貢献したいと願っている人
●論理的思考や情報分析を通じて、また、過去の歴史的経緯をふまえつつ、
社会現象の本質を探究したいという意欲のある人

金沢大学法学類アドミッションポリシーより抜粋

学類長挨拶



法学類長
合田 篤子

法学や政治学を身近な学問と感じる人は少ないかもしれません。しかしながら、法学や政治学とは、広く社会における法制度やルールのあり方を学び、社会で起こるさまざまな問題に対する妥当な解決策を考える学問であり、わたしたちの毎日の暮らしと密接な学問といえます。

また、法学・政治学を学ぶというと、難しい専門用語を覚えたり、法律の条文を丸暗記したりすることだと誤解されがちです。もちろん基本的な用語を理解する必要はありますが、条文をそらんじる必要はありません。法学・政治学を学ぶ意義はたくさんありますが、中でも法的思考力、つまり、論理的に筋道を立てて考えていく能力を習得することが重要になります。

法的思考力を養うということは、たとえば、何が問題の核心なのかを発見し分析する能力、多様な価値観も踏まえた公平妥当な解決案を考え出す能力、自分の考え方を説得的に相手方に伝える能力を鍛えることにもなります。特に昨今では、人工知能、IoT、ビックデータに象徴される新たな技術によって社会が変革期を迎えており、これまでにない新しい問題に直面することにもなるでしょう。法学・政治学を学ぶことを通して培った法的思考力は、そのような未知の局面においても必ずや活かされることでしょう。

金沢大学法学類は、前身の法文学部、法学部の時代も含めれば70年近い歴史を誇り、法曹はもとより、官公庁や民間企業で活躍する多数の人材を輩出してきました。その歴史を絶やさないためにも、現在も少人数教育をモットーに、教育、研究ともに意欲ある教員が、学生としっかり向き合い指導にあたっています。みなさんも、熱心な先生方の講義を聞き、ゼミナールでは仲間達と切磋琢磨し、この伝統ある金沢の地にて法学・政治学を一緒に学んでみませんか。

法学類

よりよい社会実現のために法的・政策的な観点から
複雑な問題の解決をはかり、社会に貢献する。

自発的・意欲的に課題発見と解決に挑む。

高度に専門化・多様化した現代社会。複雑に絡み合った問題の解決のためには、社会に対する幅広い関心をベースに自発的かつ意欲的に課題発見に挑み、その解決に必要な知識と能力を身につけることが不可欠です。

現実社会のダイナミズムの中で生かせる法的思考を。

「法学類」では、行政・公共部門の人材を育成する「公共法政策コース」、企業法務を担う人材を育成する「企業関係法コース」、法学関連の高度な専門的職業人や研究者を育成する「総合法学コース」の3つのコースを設け、現実社会のダイナミズムの中で機能する法的な知識や手法の修得を目指します。

学類の理念・目標

「法学類」の目標は、現代社会に対して幅広い関心を持ち、より良い社会の実現のために法的・政策的な観点から問題の解決策を導き出せる人材を育成することです。こうした目標のもと、法学や政治学を体系的に学ぶことのできるカリキュラムが編成されています。「法学類」は、公務員、企業人、団体職員、研究者、法曹関係者など、社会に貢献できる多様な人材を送り出してきた法学部の実績を受け継ぎ、さらに発展させます。

教育目標

□現実の社会に潜む課題に、法的・政策的な観点から対応できる能力を育成することを目指します。

□現代社会のルールとその適用、公共的課題に取り組むための総合的判断力を身につけることを目指します。

□現実の社会と学問の間をつなぎ、学生が将来の進路設計に向けて準備をする機会を提供することを目指します。

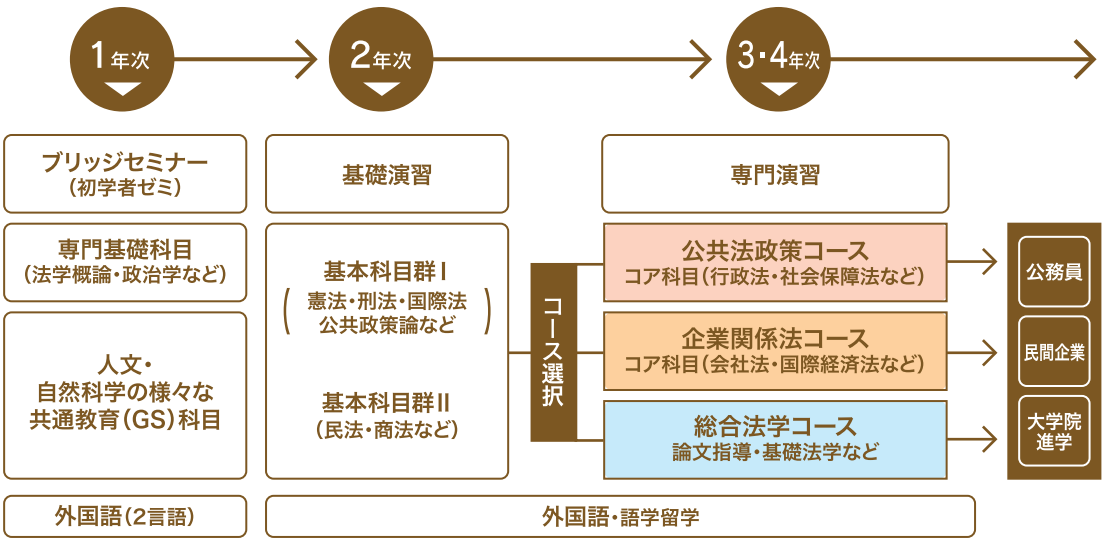
教育内容

□現実の社会に潜む課題に、法的・政策的な観点から対応できる能力を育成することを目指して、相互に緊密な関係のある法学、政治・政策学の各専門領域を、基本科目からコア科目へと体系的に履修できるカリキュラムを設定しています。

□少人数のゼミ（演習）形式の授業科目を多数設定し、教員・学生相互の自由・活発な議論を通じて専門的知識を深めあい、現代社会のルールとその適用、公共的課題に取り組むための総合的判断力を身につけることができます。

□インターンシップや実務経験者による授業を通じて、現実の社会と学問の間を往復するとともに、学生が将来の進路設計に向けて準備をする機会を提供していきます。

法学類フローチャート



1・2年次 共通プログラム

幅広い教養と語学力を身に付ける

幅広い教養を身に付けるため、法学・政治学以外の人文・自然科学などの科目を学ぶとともに、
法学政治学研究にも必要となる語学力（英語・ドイツ語・フランス語など）の基礎をしっかりと学びます。

基礎的な専門科目を修得する

コース選択後の専門科目（コア科目の学修を確実なものと）するために、
憲法・民法・政治学といった基礎的な専門科目（専門基礎科目・基本科目）をしっかりと学びます。

公共法政策コース

3・4年次

行政・公共部門で活躍できる人材の育成

「公共法政策コース」では、法律と行政・社会の関係について理解し、高度に専門化した行政・公共部門で活躍できる人材を育成するため、主として行政活動において重要な法律や制度、また政策形成のプロセスについて学んでいきます。

法学と政治・政策学を体系的・有機的に学ぶ

社会の公的枠組みを形成している憲法や行政法といった法分野の理解を深めるとともに、政策形成のプロセスを扱う公共政策論や政策過程論、複雑な行政任務に対応するために必要な隣接分野への理解も深めていきます。

卒業後の進路

- 国家公務員（総合職・一般職・国税専門官など）
- 地方公務員（県庁・市役所・警察官など）
- 公共団体職員／NPO・NGO職員
- マスコミ／大学院進学など

企業関係法コース

3・4年次

企業の経済活動の法的な基本ルールを理解する

「企業関係法コース」は、民法や商法など企業の経済活動の基本ルールを定めた法律や、企業活動から生じる法的問題についての理解を深め、企業で活躍できる人材の育成、とりわけ企業法務を担う人材の育成を目指しています。

企業活動最前線の諸問題を法的にとらえる

企業の経済活動にかかわる基本ルールの理解を前提にして、現代の企業活動の最前線において生じる問題を扱う知的財産法や倒産法などの分野、あるいは企業活動の国際化にともなう国際取引法や国際私法などの分野についても学びます。

卒業後の進路

- 民間企業（製造業・金融・マスコミ・商社など）
- NPO・NGO職員
- 大学院進学など

総合法学コース

3・4年次

大学院進学を視野に入れたコース

2004年に法科大学院（ロースクール）が設立されて以降、さらに高度な法学に関する専門的知識と問題解決能力を修得するために、大学院への進学を希望する学生が増加しています。「総合法学コース」はこうした学生のニーズに応えるコースです。

法的素養を学び、さらに高度な専門的能力の修得へ

学士課程の段階では、「法学」の体系や法の理念・歴史など基本分野について幅広く学び、自ら適切な法的判断を下せる思考能力の修得を目指します。高度な専門的職業人や研究者をめざす学生にとっては、このような能力を学士課程の段階で身につけておくことが、大学院における研究の基礎になります。

卒業後の進路

- 法科大学院を経て（裁判官・弁護士・検察官）
- 法学系大学院（修士・博士課程）を経て ・司法書士や裁判所事務官など高度な法律知識を必要とする職業
  ・研究者など

法学類生の声―金沢大学で体験できる様々なプログラムについて―

海外語学研修について



［3年生］加藤 希望

私は大学1年生の春休みにイギリスのスコットランドにあるエジンバラ大学法律英語研修に参加しました。エジンバラ大学のキャンパスは、世界遺産に指定された美しい旧市街にあります。ホームステイをしながら大学に通い、発言、質問を含め全て英語による授業を3週間受けます。この研修の特徴は、イギリスの法律を現地の先生のもとで学ぶことができる点にあります。

授業内容はイギリスの法制度を中心に行われ、イギリスの民法や刑法を入門から教わります。また、英語によるプレゼンテーションや街中で法律に関するアンケート調査なども実施します。裁判所やスコットランドの議会の見学にも行き、実際にイギリスの法律がどのように使われているのかを学びました。イギリスの法律と日本の法律を比較してみると、異なる点がいくつかあり、とても興味深かったです。

法律の知識を本場の英語で学ぶ機会は日本ではあまりないので、この経験は私にとって大きな財産となりました。今後は、英語と法律の勉強を継続しつつ、自分の専門分野を選択していこうと思います。

＊金沢大学では、海外短期語学研修の修了者に所定の単位が認定されます（詳細についてはホームページをご覧ください）。

●海外短期語学研修が実施される大学（2018年現在）

エジンバラ大学（イギリス）、ワイカト大学（ニュージーランド）、アルカラ大学（スペイン）、ユーコンカレッジ（カナダ）、国立台湾師範大学（台湾）、レーゲンスブルグ大学（ドイツ）、北京語言大学（中国）、オルレアン大学（フランス）など

インターンシップについて



［4年生］長谷川 大稀

私は2017年の9月に兼六法律事務所にてインターンシップ研修を行いました。研修内容は裁判の見学、訴状が送達されなかった住居の調査、ラジオ放送の見学、訴状や準備書面といった実際の裁判で用いる書面の閲覧等です。特に興味を持ったのは書面で、これにより実務をイメージしやすかったです。被告人や証人の尋問時に使う尋問メモも見せていただき、また裁判の見学もして、裁判のその場にて証人と対面し言葉を交えて実行していくことの難しさを感じました。

「弁護士」と聞くと堅いイメージで気軽に相談できない方が多いそうですが、小さな問題でも放っておくと重大な問題に発展しかねないため、誰もが法律事務所に相談しに来やすい環境づくりも弁護士の仕事として必要なことだと知りました。弁護士にとっては数ある事件の一つでも依頼人にとっては自分の人生に大きく関わる唯一の事件で、そんな依頼人に一番近い立場で寄り添える弁護士の仕事のやりがいを強く感じました。

●インターンシップ受け入れ先（過去の実績）

法律事務所	石川県庁	JICA北陸
司法書士事務所	三重県庁	北國銀行
行政書士事務所	福井県庁	岐阜三菱自動車販売
アイ・オー・データ機器	金沢市役所	C. A. P
朝日新聞社金沢総局	富山市役所	株式会社浅田屋
中日新聞北陸本社	和歌山県経営者協会	など多数

ゼミ紹介

政策過程論ゼミ

政策過程論ゼミでは、はじめに文献の調べ方や物事の因果関係など政策を研究していくうえで必要なことや、行政を分析するための基本的な考え方などを学びます。教科書レベルの本を全員で輪読して、担当者が読んだ内容を要約し、それを発表することによってゼミ全体で重要な部分を共有します。疑問点があればその都度先生を含めた全員で議論し、理解を深めていきます。その後、2つのグループに分かれて、グループワーク形式での研究を実際に行います。今年度のグループワークのテーマは子育て支援政策です。調査に行き詰ったときは先生がアドバイスをくださるため、非常に研究が進めやすいです。

ゼミでは国や地方公共団体の政策を中心に学んでいますが、学んだ内容は、行政だけでなく民間企業で働くうえでも大きく役立つのではないかと考えています。将来のために知見を広げておくことができるのも政策過程論ゼミの魅力の1つです。難しい内容も多いですが、ゼミの雰囲気は和やかで発表・質問等がとてもしやすく、楽しく学ぶことができています。



［3年生］北川 真由

国際法ゼミ

私たち国際法ゼミは、3、4年生が各8名ずつ所属しています。毎時間2人一緒もしくは一人ずつ別々に、興味のある時事問題やテーマを取りあげて報告しています。報告の内容はパレスチナの首都問題など近時のものから、国際法と憲法上の自衛権についてなど抽象的なものまで、自由に選ぶことができます。報告の後、質疑応答や、ディスカッション形式で各自の意見を述べます。先生は基本的に司会役で、議論はゼミ生の自主性に任されています。ゼミの最後には次週の予告報告があり、次週までに予備知識をつけておくことが求められます。ゼミ中は緊張感がありながらも和やかで、いい意味で真面目な雰囲気です。

ゼミ生の希望進路には公務員・民間企業・大学院進学と、法学類生の主な志望先がバランスよく含まれています。4年生の近況報告を通じて自分の進路とは違う方面にも視野を広げることができます。公務員や大学院はもちろん、近年は民間企業においても国際法の需要は高まっており、今後に必ず役立つ分野であると思います。



［3年生］志摩 苑子



［3年生］高村 菊乃



新入生オリエンテーション



本学類教員執筆のテキスト



高大連携講座



大教室での講義



学生が送るキャンパスライフ紹介!

私の1DAY Campus Life





公共法政策コース[3年生]
原田 萌里



1日のスケジュール

7:30	起床、朝食、支度
10:10	登校
10:30～12:00	国際法第２部
12:00～14:30	カフェで昼食、自習
14:45～16:15	政策過程論
16:30～18:00	ゼミ
18:30	帰宅
18:30～20:30	夕食など
20:30～22:00	ノートの整理や復習、明日の準備
22:00～23:45	読書など趣味の時間
24:00	就寝

一週間の授業スケジュール

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	社会保障法				
2	会社法 第2部	会社法 第2部	国際法 第2部		行政法 第2部
3	行政法 第2部			政策過程論	
4	国際法 第2部		政策過程論		社会保障法
5		政治コミュニ ケーション論	ゼミ		
6					


学生企画イベント


インターンシップ報告会


謝恩会


校舎外観

法学類公認サークルの紹介 Circle information

E7

金沢市選挙サポーターＥ７は、選挙啓発活動を企画・実践する学生団体です。若者の政治離れによる投票率低下を改善させるために、主権者教育や選挙啓発などの活動を日々行っています。また、全国の選挙啓発団体と交流する機会もあり、お互いに協力しながら、選挙と向き合っています。



金沢ディベートサークル

私たちはディベートという議論方法を用いて、論理的な文章作成能力・議論のスキルといった能力を伸ばすことを目的として活動しています。ディベートとはある論題についてその是非を議論するもので、幅広い分野を対象に議論を行っています。毎年、全国の大学ディベート大会に出場しており、数々の受賞歴があります。



地域ブランディング研究会

地域ブランディング研究会は、石川県内の地域の魅力を発掘・発信することを活動内容としています。里山里海などの自然資源、古くからの伝統文化が残る能登半島を主な活動拠点とし、社会に対する多角的な視野の養成・学生の手によるビジネスモデルの確立を目指しています。



模擬国連北陸支部

模擬国連の活動内容は各自が各国の大使に扮し、実際の国連会議の形式に沿って会議を行うことです。それにより体感的に国際問題について知識を深めることや、プレゼンテーション能力やスピーチ能力なども養うことができます。

URL http://hokuriku-mun.org/



金沢法友会

金沢法友会では、３つのプロジェクトを行っています。法教育では、中高生に、法を身近に感じてもらうための授業を実践しています。岡山大学との交流会では、合同企画を行うことで互いに法に対する見識を深めます。さらにキャンパスビジットにおける裁判劇の上演と講義も担当しています。

URL http://kanazawahouyu.wixsite.com/houyukai



法律相談所

私たちは、日頃の学類の授業やこのサークルでの勉強を通して学んだことを生かし、一般の方々の法律相談を受けています。この相談を通して実際に起こっている法律問題にじかに触れることができ、教科書だけでは学ぶことのできない「生きた法律」を学ぶことができます。

URL http://kanazawa-hoso.jimdo.com



法学類 Q&A

疑問・質問に学生たちが答えます！

Q.1 海外でも法律を学んでみたいのですが…。



[3年生]梶 達也

A 金沢大学法学類には、エジンバラ大学（イギリス）での法律専門の英語研修が用意されています。春休み期間3週間、英語で法律の授業を受けたり、プレゼンをしたり、現地の裁判所を見学したりと、法律の基礎を英語で身につけるプログラムに参加できます。

Q.2 どんな資格が得られますか？

A 法学類で取得できる資格は、中学校の社会、高校の公民の教員免許です。また、司法書士、行政書士、社会保険労務士などの資格試験には、法学系の科目が受験科目に設定されているため、これらの資格試験を受験する人も多数います。



[3年生]山本 茉緒

Q.3 将来公務員になりたいのですが・・・。

A 法学類の卒業生には、特に地方公務員(県庁・市役所)や国家公務員一般職の合格者が多いです。金沢大学では、公務員志望の学生のために、生協と協力して「公務員対策講座」も開講されています。



[3年生]青木 伸太朗

Q.4 将来法曹（弁護士・検察官・裁判官）になりたいのですが・・。



[3年生]伴野 理香

A 将来法曹になりたい人は、大学卒業後、ロー・スクール(法務研究科)で勉強し、その後、司法試験に合格しなければなりません。金沢大学には、北陸唯一のロー・スクールもあり、ロー・スクール進学希望者同士で一緒に勉強しています。

Q.5 奨学金制度について教えてください。

A 最も貸与数の多いのが、日本学生支援機構の奨学金です。奨学金には、無利息の第一種奨学金と利子つきの第二種奨学金があり、日本学生支援機構が定める一定の学力水準と家計基準を満たした学生であれば、申請することができます。



[3年生]宮澤 洪作

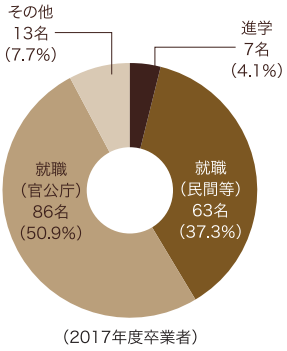
主な就職先（順不同）

民間企業

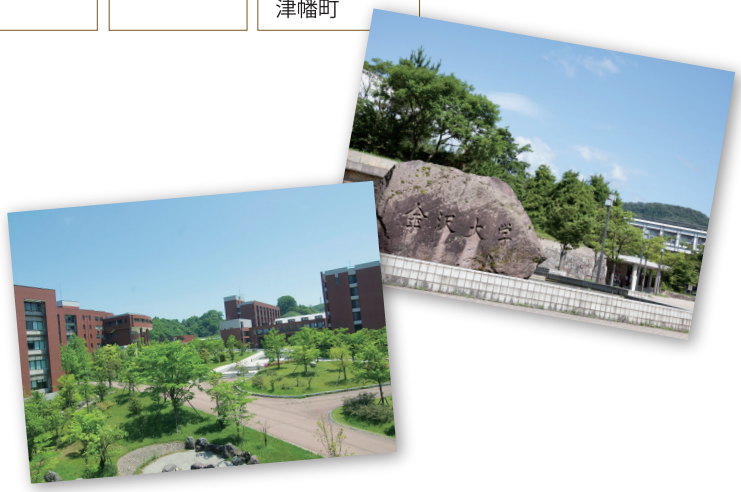
（株）北陸銀行
（株）石川コンピュータ・センター
（株）TS工建
明治安田生命保険相互会社
三井住友海上火災保険（株）
ゲンキー（株）
日本郵便（株）
（株）インテック
（株）オートバックスセブン
（株）キャリアデザインセンター
（株）ホクリクコム
（株）三重設計
損害保険リサーチ（株）
セコム北陸（株）
江守商事（株）
三協立山（株）
（株）メガネのハラダ
東芝ロジスティクス（株）
北陸電力（株）
アフラック生命保険（株）
キタムラ機械（株）
（株）種清
コンドーテック（株）
（株）商工組合中央金庫
ドコモ・サポート（株）
むかい税理士法人
（株）日本政策金融公庫
阪急バス（株）
（株）八十二銀行
三井住友信託銀行（株）
（株）苗加不動産
滋賀ダイハツ販売（株）
中村留精密工業（株）
（株）北國新聞社
日鋼情報システム（株）
エムスリードクターサポート（株）

官公庁

国の機関	都道府県	市区町村
財務省	石川県	金沢市
法務省	富山県	加賀市
総務省	福井県	富山市
防衛省	長野県	浜松市
厚生労働省	滋賀県	鶴岡市
国土交通省	愛知県	岡崎市
文部科学省	群馬県	焼津市
経済産業省	静岡県	長野市
国税庁	青森県	日進市
警察庁	福井県警	館林市
裁判所	愛知県警	三島市
公安調査庁	警視庁	名古屋市
		港区（東京都）
		津幡町



（2017年度卒業者）

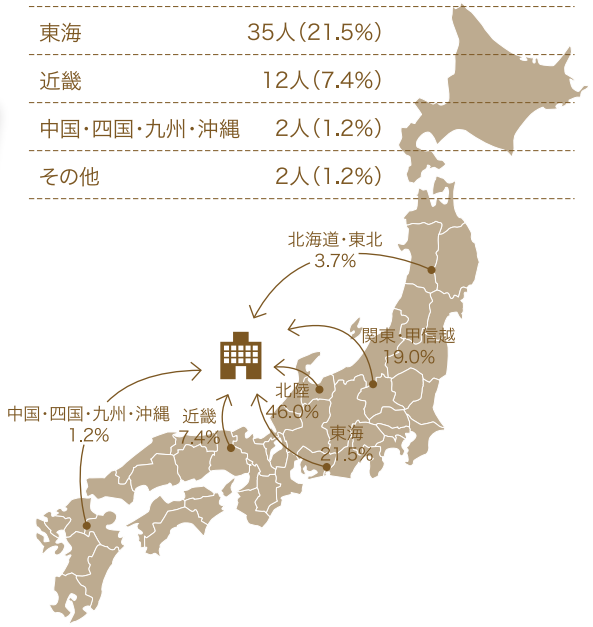


【法学類教員一覧】

足立英彦	教授	（法理学）
丸本由美子	准教授	（日本法制史）
中村正人	教授	（東洋法制史）
東川浩二	教授	（外国法）
山崎友也	准教授	（憲法）
長内祐樹	准教授	（行政法）
平川英子	准教授	（税財政法・国際租税法）
稲角光恵	教授	（国際法）
永井善之	教授	（刑法）
大貝　葵	准教授	（刑事訴訟法）
石田道彦	教授	（社会保障法）
合田篤子	教授	（民法）
髙　秀成	准教授	（民法）
村上　裕	准教授	（商法）
福本知行	准教授	（民事訴訟法）
羽賀由利子	准教授	（国際私法・国際取引法）
洪　淳康	准教授	（経済法）
大友信秀	教授	（知的財産法）
木村高宏	准教授	（公共政策論）
河合晃一	講師	（政策過程論）
岡田　浩	教授	（投票行動論）
仲正昌樹	教授	（政治思想史）
山本竜大	教授	（政治コミュニケーション論）

法学類生の出身地（2018年度入学者）

北海道・東北	6人（3.7%）
関東・甲信越	31人（19.0%）
北陸	75人（46.0%）
東海	35人（21.5%）
近畿	12人（7.4%）
中国・四国・九州・沖縄	2人（1.2%）
その他	2人（1.2%）



KANAZAWA UNIVERSITY SCHOOL OF LAW 2018
金沢大学人間社会学域　法学類
〒920-1192　石川県金沢市角間町
金沢大学人間社会系事務部
□入試に関するお問い合わせ：入試係　TEL. 076-264-5600～5602
□カリキュラムに関するお問い合わせ：教務係　TEL. 076-264-5887
URL. http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/

金沢大学法学類月報
法学類では、最近のトピックやコラム、エッセイなどを通じて法学類の今をお伝えする金沢大学法学類月報を発行しています。最新号やバックナンバーはホームページからご覧いただけます。